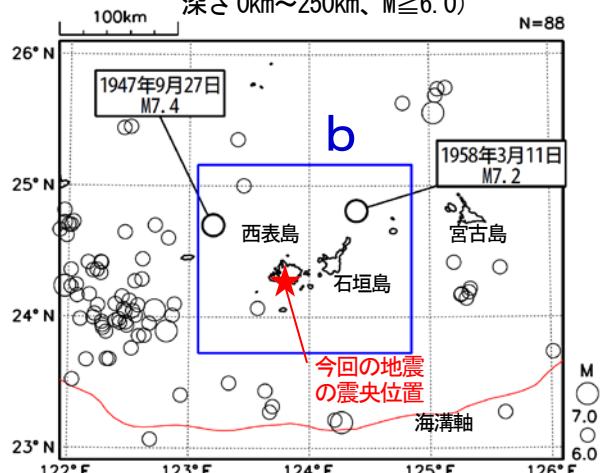
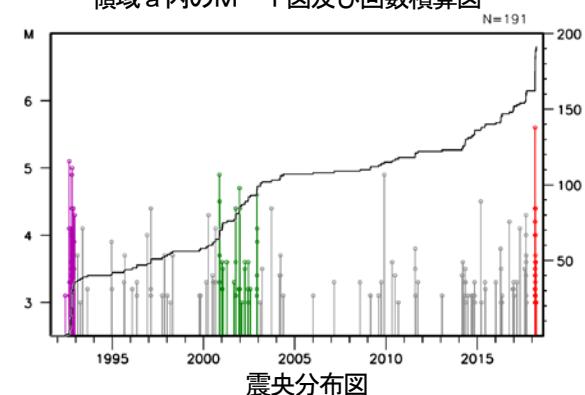
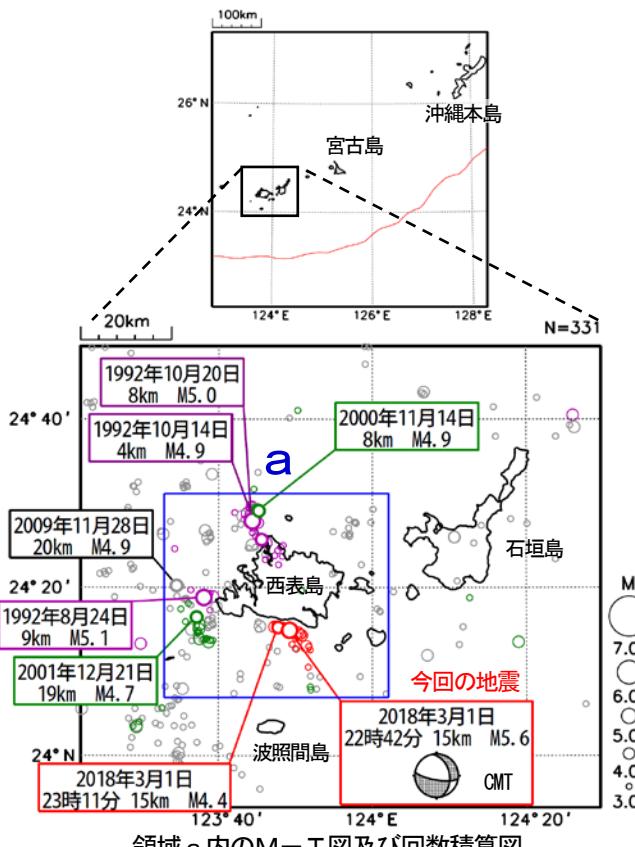


## 3月1日 西表島付近の地震

## 震央分布図

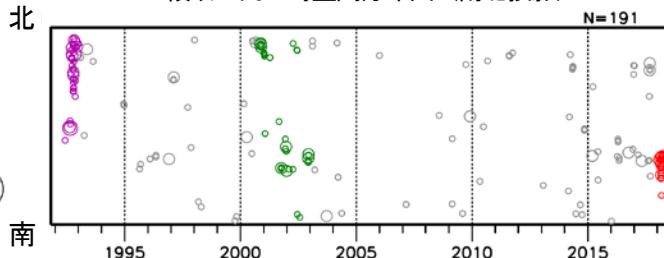
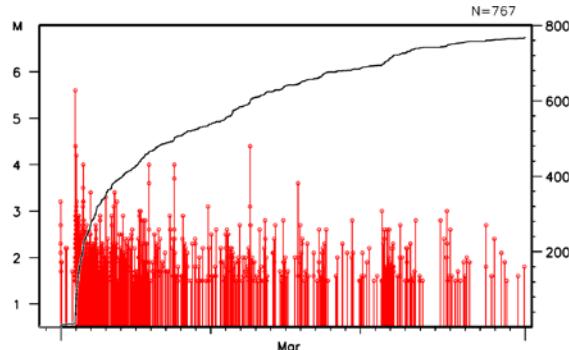
(1992年1月1日～2018年3月31日、  
深さ0km～30km、M≥3.0)  
1992年12月までの地震を紫で、  
2000年11月から2003年2月までの地震を緑で  
2018年2月28日以降の地震を赤で表示



2018年3月1日22時42分に西表島付近の深さ15kmでM5.6の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、北東一南西方向に張力軸を持つ型であった。この地震の発生後、地震活動が活発な状態で推移しており、3月31日までに震度1以上を観測する地震が、40回（最大震度3：3回、最大震度2：8回、最大震度1：29回）発生している。なお、2月28日23時16分にもほぼ同じ場所でM3.2の地震（最大震度1）が発生している。

1992年1月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺（領域a）では、M5程度を最大規模とする地震活動が時々発生している。そのうち1992年の活動では、壁の亀裂、石垣の崩落等の被害が発生している（「日本被害地震総覧」による）。

## 領域a内の時空間分布図（南北投影）

領域a内のM-T図及び回数積算図  
(2018年2月28日～3月31日、M≥1.5)

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1947年9月27日にM7.4の地震（最大震度5）が発生し、石垣島で死者1人、西表島で死者4人の被害が生じている。（被害は「日本被害地震総覧」による）。

## 領域b内のM-T図

